

2022年8月の行事予定表

1	月		16	火	
2	火		17	水	
3	水		18	木	
4	木		19	金	
5	金		20	土	
6	土		21	日	礼拝式
7	日	礼拝式、聖餐式	22	月	
8	月		23	火	
9	火		24	水	
10	水		25	木	
11	木		26	金	
12	金		27	土	
13	土		28	日	礼拝式
14	日	礼拝式、役員会	29	月	
15	月	(平和祈禱会=平和の会主催 7 a.m.)	30	火	
			31	水	

8月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。
(敬称略)

編集後記

- ◇ 「不利益」(ふべんえき)について深夜ラジオで聞きました。「不便の方がいいこともある」「便利＝豊かさなのではないか」という問いかけでした。
- ◇ この不利益を考えた人は京都大学教授で、携帯電話(スマートフォンもガラケーも)を持たないそうです。
- ◇ コロナ第七波で、日曜礼拝がまた YouTube 視聴になりました。「教会に集まらない、会えない」現実に、聖書で勧められている『自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合ひましょう。』(新改訳ヘブル 10:25)に従って、早く再開を願います。
- ◇ コロナ禍では、YouTube という便利さに助けられている礼拝ですが、「集まれる、会える」豊かさがいっそう浮き彫りになります。

教会月報

2022年8月
No.375

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

平和の尊さ

「あなたは、エジプトの国で奴隷であったことを思い起こしなさい。わたしはそれゆえ、あなたにこのことを行うように命じるのである。」旧約聖書・申命記 24 章 22 節

現在の世界を見渡せば、歴史的な転換点に差し掛かっていると感じるのは、私だけではないでしょう。あまりにも常識があつという間に崩れ去ろうとしている現実に恐怖を感じます。世界中で分断が進み、対立の構造が構築されていきます。今後の予測が建てられないままに時間(歴史)だけは進んでいきます。将来のことを予測できないままで。

さて、上記の聖句は、かつてイスラエル(ユダヤ人)が経験したことを基とした、原体験と言われるものであります。選民イスラエルは神様に特別に選ばれた民でありました。しかし、彼らは神のみ心に反し、行動した結果、奴隷という苦難を受けることとなります。その経験があり、寄留者や孤児の権利を奪ってはならないと諭し、命じます。

落穂ひろいの絵画をご存じでしょうか。「畑で穀物の収穫時、一束畑に忘れても取りに戻ってはならない。それは、寄留者、孤児、寡婦のものとしなさい。こうして、あなたの手の業全てについて、あなたの神、主はあなたを祝福される。」申命記 22 : 19

地球上の私たち一人一人は、平和を求めて歩もうとします。また、歴史から様々なことを学び、今までにない理想を求めて進むのです。

イエス・キリストは、人が欲しないことをせず、人が求めることをしてあげなさいと語られました。共に生きる視点をもって、世界中の人々と平和を享受したいものであります。

牧師 永松 清

奨励要旨(6月19日)

『父なる神の愛』～ルカ 15:32～ K.Y.兄

今日は父の日です。そこでイエス様が語られた『放蕩息子の話』の中に出てくる父親の愛情と姿勢について学びたいと思います。

弟は相続財産をあらかじめ要求したあげくにそれを使い果たしました。有り金を使い果たし、飢饉がおこり食べものにも事欠くようになります。ここでやっと彼は改心します。悔い改め



てなんとか許しを請うという思いだったでしょう。しかし父親は遠くから息子を見つけて息子の謝罪や懺悔を聞くやいなや身に着ける物も揃えさせお祝いの宴まで開きます。父の思いは『死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ』という一節に集約されています。

畑での仕事をしていた兄の態度は私たちの感覚に近いように感じられます。この兄のほうが私たちには共感できるのではないのでしょうか？ 兄は『行動によって認められるはず』という行為義認の思いによって動いていました。父は長男がいつも自分と一緒にいることを伝えます。その上で弟が帰ってきたという喜びは父にとってこの上ないものであると伝えます。これは神さまの愛そのものを現しています。

神様の愛はわたしたちの行動や考え方や態度で変わるようなものではない。こちらがそれに気付くのを待ってられる。神さまを信じる人も信じない人も全ての人の上に神さまは愛を注いで気付くことを待ち続けています。



奨励要旨(6月12日)

イエス様がお認めになった信仰 H.D.兄

福音書の中で、イエス様がお認めになった信仰は7つあります。

1. マタイ8章10節 百人隊長:宇宙(天地万物)の根源的摂理を認識
2. マタイ9章2節 中風の人:心を合わせ寄り添って主のもとに
3. マタイ9章22節 長血の女:絶望(詐欺・裏切り・生活苦)の中で、主に依り頼む
4. マタイ15章 26-28 節 カナンの女:大胆に(厚かましいほどに)主を求める
5. マルコ10章51節 盲人バルティマイ:ありのままを主に告白し求める
6. ルカ17章19節 重い皮膚病を患っている十人の中の戻ってきたひとり:癒されたことを契機に主を拝する

7. ルカ7章50節 髪で足をぬぐい香油を塗った罪深い女:自分の罪を自覚し、罪をかかえたまま主を拝する

私たちに必要な信仰は以上の7つです。ありのままの自分をそのままイエス様に投げかける信仰をイエス様は求めておられます。そしてイエス様は、今もこのように語りかけておられます。

「女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようとも、わたしがあなたを忘れることは決してない。見よ、わたしはあなたを、わたしの手のひらに刻みつける。」イザヤ書49章 15-16 節

永松先生、淑子先生へ

N.D.姉

はじめて先生ご夫妻とお目にかかったのは、結婚で岡山に来たときでした。その頃は教会学校もいっぱいでした。淑子先生と同世代のお母さん達も教会に集い、人の出入りが多く賑やかな印象でした。特に淑子先生から、自分の子どもの友達だけでなく、我が子をいじめる子まで、包み込んで愛する姿を教えられました。担任の先生が淑子先生のファンになったという話を聞き、さもありなんと思いました。インドネシアに行っていた時期を除くと実質2年ほどの岡山でしたが、出産子育てと何もかも初めてで、知らない土地の生活を、先生ご夫婦に支えていただきましたし、淑子先生はこうなりたいと思う私の目標でもありました。



人生の終わりは関東周辺で過ごすと思っていた私たちですが、まさかの岡山への帰還(笑笑)となり16年前に岡山に戻りました。今思えば神様のご計画だったのでしょう。長年祈りながら叶えられなかった主人の母が、岡山で入信したのですから。これには、永松先生、淑子先生の導きがあったからでした。色んな牧師に手厳しかった義母ですが、何故か永松先生には心を許していました。大きな問題だった仏壇・神棚を先生のアドバイスで心残りなく整理出来たことは、その後の義母の姿を見ても大きかったと感じます。またそこまでの心の変化は、まめに訪問し長い(本当に長い笑)話を飽きずに聞いてくれ、また理解して寄り添って下さった淑子先生の存在なしには適わなかったことでした。今年の4月、家族葬の際に、教会の玄関で淑子先生の姿を見たとき、こうして義母を送ることができたのは、先生ご夫妻のおかげだと感謝せずにはおられませんでした。

これからも主に守られ豊かに祝された歩みとなりますように。



いよいよ今月上映! 三浦綾子原作

われ弱ければ 矢嶋 楯子伝



矢嶋 楯子(やじま かじこ)・・幕末期に生まれ、明治・大正という男尊女卑が根深かった時代。熊本・益城町の女性がキリスト教精神に基づいた女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に生涯を捧げた矢嶋楯子の生涯を描きます。

教会で前売り券取扱い中*****



※**岡山市天神山プラザホール**(1階・270 席)
～岡山駅からバスで「天神山」下車徒歩3分

8月27日(土)①10:30, ②14:00(字幕付き), ③18:00 (各30分前開場)

※**倉敷公民館大ホール**(1970 席)～倉敷駅からバスで「大原美術館」下車徒歩4分

8月28日(日)①10:30, ②13:30(字幕付き) (各30分前開場)

※前売り券:1,200 円(当教会ほかで取扱い中、

各会場・時間共通券) ※当日券:1,500 円、映画チラシ持参:1,300 円(5名まで) ※学生割引、シニア割引はありません。



各上映会場では、席のあいだを空け、マスク着用など、感染対策を守って鑑賞しましょう。

※関連マンガ:「まんが四賢婦人物語～時代を切り開いた矢嶋家の人々」矢嶋家で生まれた四人の姉妹(楯子を含めて)が、女性の地位向上を目指し、猛烈に生きた姿を描く感動のストーリー。(教会図書で貸出し中)

YouTube 礼拝に

新型コロナウイルス感染症の第七波が拡大しており、5月1日(日)より通常礼拝を再開しておりましたが、急きよ7月24日(日)より YouTube 礼拝に移行しております。

CS(教会学校)では、前週に、大人の方々から夏休みレターとプレゼントがボックスに! 8月いっぱいCS 休校とのこと。

また早く、教会堂に子どもたちの声が戻りますように!

